

# 寺小だより

令和4年度 5月号 NO.2  
富田林市立寺池台小学校  
校長 阪上佐智子  
☎ 0721-29-1477

## 身近な人を大切に それが平和を生む

『朝日小学生新聞』に日本人の刺繍作家、石田朝子さんの記事が載っていました。石田さんはウクライナの方と結婚し、およそ25年ウクライナで暮らし、現在も現地にいらっやいます。戦時下の生活や思いをイラストとともにSNSで発信されています。記事では以下のように述べておられました。



戦争は急に始まったのではなく、少しずつ準備されていました。けれど私たちは気づきませんでした。(中略) みなさんに伝えたいことがあります。周りの人を大切にして生活してほしいのです。その積み重ねが実は、重要な平和活動ではないかと思っています。戦争の始まりには「この人がきらいだ、この人は劣っている」といった小さな憎しみや差別があります。そのようなことを言っていると、自分ではなくても、子どもや孫の時代に大きな戦争になるかもしれません。これは、戦争を経験している私からの忠告です。

戦争で多くのかけがえのない命が失われている報道に心が痛みます。私たちにできることは、少ないかもしれませんが、しかし、平和を守る第一歩は、身近な人を大切にする・人を憎まず、お互いが理解し合うように努力する・人権を尊重し合うことではないでしょうか。

5年生は現在「平和ポスター」を作製しています。このポスターは富田林市で毎年8月に開催される「平和を考える戦争展」で掲示されます(代表者)。市内小学校の5年生が、ポスター作製を通して平和について考える機会にもなっています。

◎<sup>しかく</sup>四角の中は、<sup>なか</sup>子どもたちも<sup>こ</sup>読み<sup>よ</sup>みましょう。



<sup>ひと</sup>人と<sup>ひと</sup>人が <sup>なか</sup>よくする <sup>ほうほう</sup>方法

じぶんと まったく同じ <sup>おな</sup>考えの <sup>かんが</sup>人は <sup>ひと</sup>いない <sup>し</sup>ということを知る

『みんな <sup>ちが</sup>ちがって <sup>みんな</sup>みんな <sup>いい</sup>いい』ということをおぼえておく

<sup>き</sup>気持ちや <sup>かんが</sup>考えは <sup>おたが</sup>おたがいに <sup>つた</sup>伝え <sup>あ</sup>合うこと <sup>き</sup>聞き <sup>あ</sup>合うことを <sup>たいせつ</sup>大切にする